

§ 協会の動き（平成26年4・5月分）

☆ 平成26年度職長・安全衛生責任者教育を開催

[事故防止対策委員会事業]

平成26年5月13日、14日に(株)安全衛生推進会のご協力により、平成26年度職長・安全衛生責任者教育を開催いたしました。

講師に中嶋光男氏を迎え、17名の受講者は2日間にわたり職長・安全衛生責任者教育を受講しました。全過程の修了者には、教育終了時に修了証が交付されました。

労働安全衛生法第60条により、建設業の職長は職長教育を修了していなければならないとされており、平成13年3月より、現場の安全衛生責任者となる職長にはさらに安全衛生責任者教育の受講が定められました。また、平成18年4月の改正労働安全衛生法により、リスクアセスメントの実施が建設企業の努力義務となり、「職長・安全衛生責任者教育」の内容には、リスクアセスメント関係科目が取り入れられております。



☆ 平成26年度定時総会・懇親会及び優良従業員表彰式を開催

平成26年度定時総会を5月28日にホテルブリランテ武蔵野で開催いたしました。

今年は役員改選の年にあたり、荻野勝治前会長が名誉会長に、島村光正前副会長が新会長に就任しました。島村新会長より「協会のために全力を尽くすので、会員の皆様の協力をお願いしたい。景気は上向いているが、業界の内情はまだ厳しいものがある。特に若い人材が不足しており、協会として人材育成に力を注いでいく。また、インフラ劣化、オリンピック、復興など仕事量が増え、単価の乖離や人材不足などで入札・契約状況が大きく変わり不調・不落案件が続出している。協会として目をつぶっているわけにはいかない。発注者と綿密に打ち合わせを行い、結果が出るように協会を上げて取り組みたい。」と挨拶がありました。

荻野名誉会長からは「協会員と非会員の差別化・会費低減・一社化への事業改革の3項目を就任時より掲げ、各委員会で検討を重ね取り組んできた。会員が増えたのも差別化が認知されたためだと思う。3つの公約が実現できたことで、退き時と判断した。今後も島村会長を中心に会員の皆さんとともに協会を盛り上げていきたい」と会長退任の挨拶がありました。

総会の議案としては、平成25年度会務報告、平成25年度収入・支出決算等について審議し、原案どおり承認され、平成26年度事業計画・収支予算等を報告しました。

総会終了後に開催しました懇親会では、多くの来賓や関係者の方々にお集まりいただき、和やかに懇親会を終えることが出来ました。このことは、ひとえに皆様のお力添えの賜と心から感謝申し上げます。

なお、同時開催いたしました「優良従業員表彰式」では、永年勤続者（20年以上16名、10年以上16名）優秀技術者（5名）の部門と総勢37名が受賞されました。受賞された皆様におかれましては、誠におめでとうございます。

これからも、本協会は更なる飛躍をめざし努力してまいりますので、より一層のご厚誼のほどよろしくお願い申し上げます。



【島村会長 挨拶】



【荻野名誉会長 挨拶】



【新旧役員一同】



【総会風景】



【優良従業員表彰者集合写真】



【懇親会での賛助会員の紹介】



[懇親会風景]